



工業会

The Japanese Association For Non-Destructive Testing Industry (JANDT)

発行元 一般社団法人日本非破壊検査工業会
〒101-0047
東京都千代田区内神田2丁目8番1号 富高ビル3F
電話 03-5207-5960 FAX 03-5207-5961
URL : <https://www.jandt.or.jp/>
編集 : 広報部会

会員の満足と非破壊検査の地位向上を目指す

理事長 長岡 康之



工業会活動について

当工業会は、非破壊検査の普及と振興を通じて、非破壊検査業並びに検査機器及び材料等の製造・販売業の経営基盤強化と相互支援、また、講習会や講演会及び技術討論会等の実施による非破壊検査技術の啓発や普及及び教育に努めている。更に、非破壊検査技術者の資格試験、認証の実施など、会員の満足と非破壊検査の地位向上を目指しており、主な活動は以下のとおりである。

各部会の活動について

広報部会が2023年に開設した会員相互の情報交換サイト「工業会119」を、会員の声を元に新たなSNSを導入し、より利用しやすい仕様に変更し、会員同士の交流サイトとして新製品・新技術に関する質問などのコミュニケーションがタイムリーに行われるよう活性化することを目指していく。また、展示会委員会は、7月23～25日の3日間、東京ビッグサイト（東京都江東区）で「非破壊検査のデジタル革命とその先の未来へ」をテーマにした「第12回非破壊評価総合展」の開催を予定しており、出展者の拡大に努めている。

技術部会は、今年8月25日にきゅりあん（品川区立総合区民会館）において「石油・電力の保守検査における新たな潮流と新技術」をテーマに掲げ、メンテナンスやプラント建設工事を行う事業所関係者の登壇による非破壊検査技術のDXやAI実務に関する討論会を計画している。討論会には、経済産業省製造産業局・産業機械課長であり製造産業DX政策企画調整官である須賀千鶴氏に登壇いただく予定ある。

教育部会は、2022年以降導入を継続しているeラーニングによる「JIS Z 2305超音波探傷試験レベル2」教育訓練の受講受付を3月より開始した。苦手分野のある方、一人で学習することが不安な方などが、受講期間中に繰り返し丁寧に学習をできるので、是非本講習を活用し、一人でも多くの方に合格していただきたい。

認証部会では、国土交通省などから講師を招いて今年で第3回目となる「インフラ点検技術講演会」をきゅり

あんにおいて4月14日に開催する。2014年から5年に1度の点検が義務化された橋梁・トンネル等の点検が3巡目となり、現状と課題及び最新技術に関する講演を計画している。

安全部会では、携帯式エックス線装置を使用する現場作業員の労働安全衛生管理・安全意識向上及び労働災害防止を目的に「エックス線安全取扱教育（eラーニング）」講習を年2回開催し、会員・非会員を合わせて毎回100名以上が受講している。

機材支部では、新入社員や普段直接検査機器に触れない事務職を対象に、非破壊検査に関する基礎講習を開講し「そもそも非破壊検査とはどのようなものか」についての知識を得ていただきたいと思っている。

このような部会活動や支部ごとに実施している講習会等が活発に行われることで、会員に満足していただけるような工業会を常に目指している。

配筋探査技術者資格の国家資格化への取り組み

非破壊検査業界では、少子高齢化や働き方改革等の影響で担い手不足が課題となっている。課題解決の手段として認証部会は、配筋探査技術者資格を民間資格から国家資格化への道筋を模索している。

国家資格は民間資格に比べて、認知度・信頼度・安定性が格段に違っている。国家資格とすることで認知度や信頼度の向上と非破壊検査業の地位向上につながり、「手にしっかりと職をつける」意味からも魅力ある職業としていくことで、人手不足の解消につなげていきたい。

また、建設業を対象とした建設キャリアアップシステムは、経験や資格に応じて適正な評価に基づいた評価で賃金が支払われる制度で技術者の処遇改善等に取り組んでいる。非破壊検査業界においても建築業界に倣ってシステムを導入できれば、技術者の価値を適正に評価し給与アップにつながり人材確保が期待されることから、導入への道筋を検討する必要があると考える。

当工業会は、より質の高い人材による検査で安全安心な社会の構築を目指していきたい。

NDT工業会加盟の令和5年度検査会社135社の経営実態

令和5年度の会員登録票及び売上の調査結果よりまとめた。

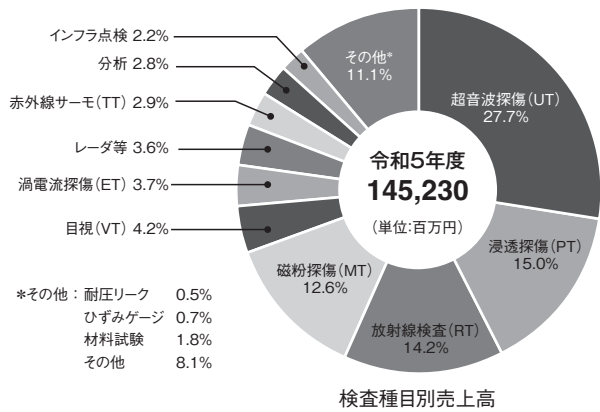
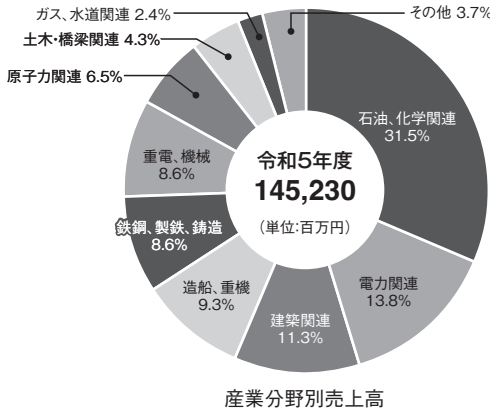
1.1 会員数、従業員数、売上高の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数(社)	161	162	165*1	163*1	162**1
(対前年度比)	(±0)	(+1)	(+3)	(-2)	(-1)
従業員数(人)	9,586	9,669	9,602	9,317	9,422
(対前年度比)	(-966)	(+83)	(-67)	(-285)	(+105)
売上高(百万円)	138,400	131,800	137,500	141,000	145,230
(対前年度比)	(-7,100)	(-6,600)	(+5,700)	(+3,500)	(+4,230)

*1 令和5年度(2023年4月~2024年3月)の会員数及び従業員数は令和5年7月1日現在の会員登録票による実数値

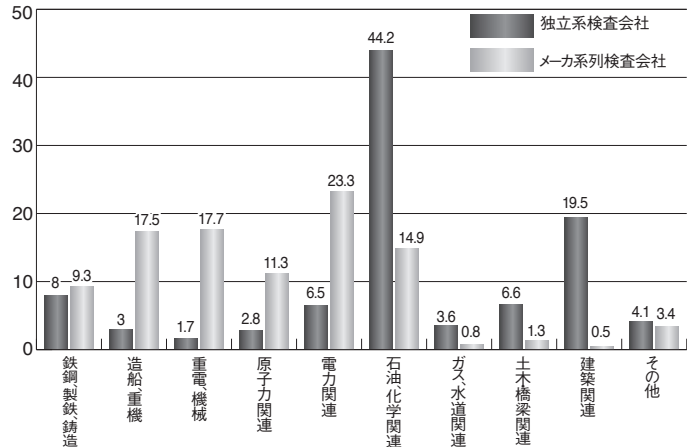
*2 売上調査に基づく推計値

1.2 令和5年度売上高に占める産業分類別及び検査種目別等の比率



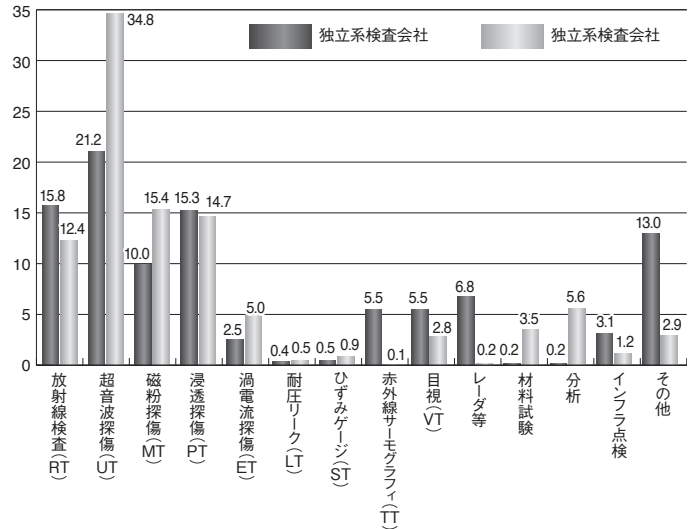
(1) 産業分類別 ※売上調査と合せた推計値

産業分野 (右カッコ内は前年参考)	令和5年度 売上高比率 (%)		
	全検査会社	独立系検査会社	メーカー系列検査会社
鉄鋼、製鉄、鋳造	8.6 (9.0)	8.0 (8.6)	9.3 (9.4)
造船、重機	9.3 (5.5)	3.0 (2.9)	17.5 (9.0)
重電、機械	8.6 (8.5)	1.7 (1.9)	17.7 (17.2)
原子力関連	6.5 (5.3)	2.8 (3.4)	11.3 (7.9)
電力関連	13.8 (14.5)	6.5 (7.8)	23.3 (23.4)
石油、化学関連	31.5 (34.8)	44.2 (41.5)	14.9 (25.9)
ガス、水道関連	2.4 (3.2)	3.6 (2.8)	0.8 (3.6)
土木・橋梁関連	4.3 (5.8)	6.6 (9.3)	1.3 (1.1)
建築関連	11.3 (10.8)	19.5 (18.4)	0.5 (0.6)
その他	3.7 (2.6)	4.1 (3.4)	3.4 (1.9)
合計	100.0	100.0	100.0



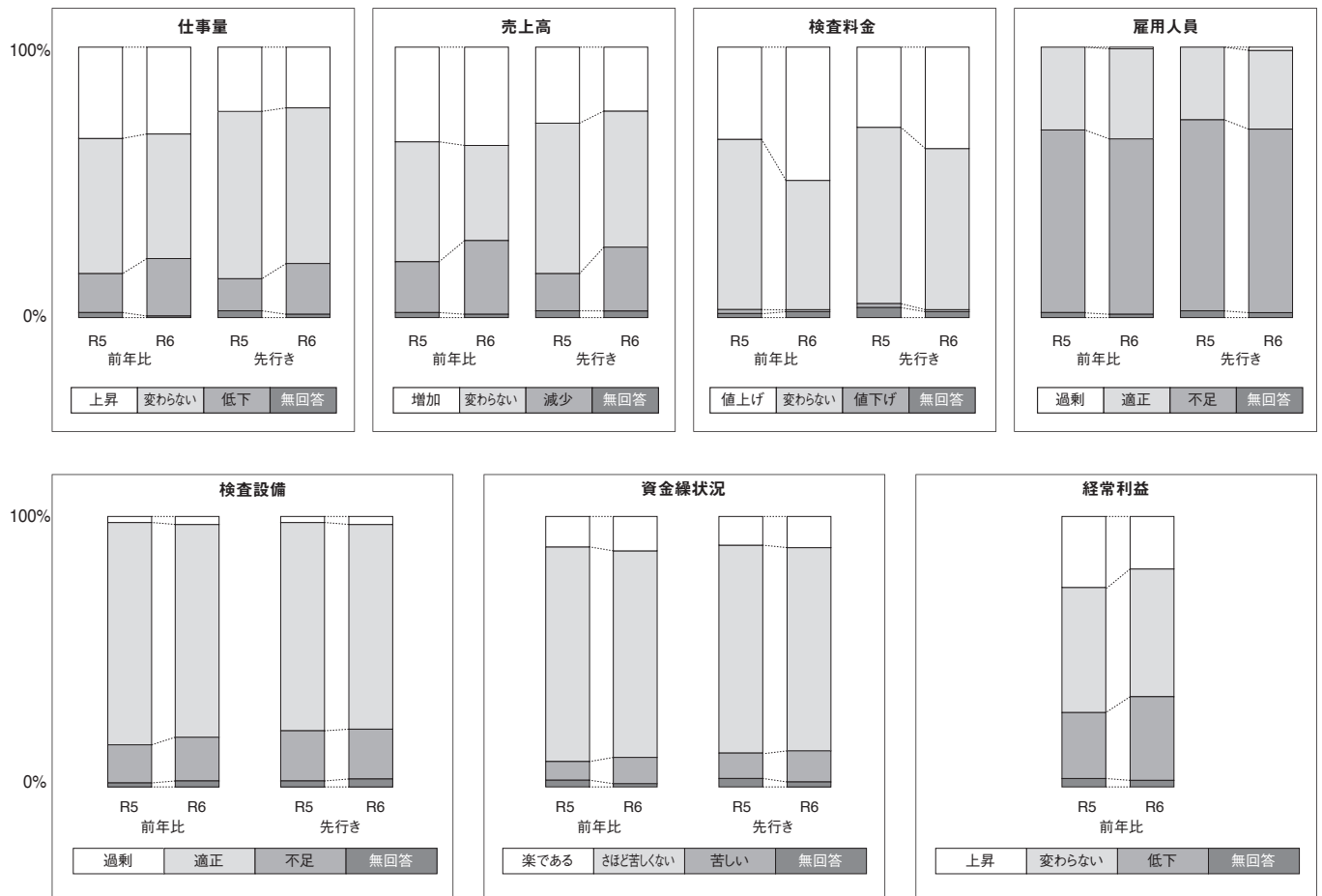
(2) 検査種目別

検査種目 (右カッコ内は前年参考)	令和5年度 売上高比率 (%)		
	全検査会社	独立系検査会社	メーカー系列検査会社
放射線検査(RT)	14.2 (14.4)	15.8 (16.1)	12.4 (12.3)
超音波探傷(UT)	27.7 (27.4)	21.2 (22.6)	34.8 (33.4)
磁粉探傷(MT)	12.6 (13.2)	10.0 (10.9)	15.4 (16.1)
浸透探傷(PT)	15.0 (14.4)	15.3 (14.1)	14.7 (14.7)
渦電流探傷(ET)	3.7 (4.2)	2.5 (3.1)	5.0 (5.6)
耐圧リーク(LT)	0.5 (0.2)	0.4 (0.4)	0.5 (0.0)
ひずみゲージ(ST)	0.7 (0.4)	0.5 (0.5)	0.9 (0.3)
赤外線サーモグラフィ(TT)	2.9 (0.3)	5.5 (0.4)	0.1 (0.1)
目視(VT)	4.2 (6.8)	5.5 (10.0)	2.8 (2.7)
レーダ等	3.6 (5.0)	6.8 (8.4)	0.2 (0.6)
材料試験	1.8 (2.0)	0.2 (0.6)	3.5 (3.8)
分析	2.8 (2.9)	0.2 (0.3)	5.6 (6.2)
インフラ点検	2.2 (3.6)	3.1 (5.6)	1.2 (1.1)
その他	8.1 (5.2)	13.0 (7.0)	2.9 (3.1)
合計	100.0	100.0	100.0



令和6年の非破壊検査業界の景気動向調査

会員企業195社を対象に実施し、165社より回答を得た。



K 経験豊富な実績
 E 笑顔で、業務に取り組みます
 I いつでもどこでもあらゆるニーズにお応えします

放射線透過試験／超音波探傷試験／磁粉探傷試験／浸透探傷試験
 過流探傷試験／漏れ探傷試験／レーダー探査／気密・耐圧試験

KEI 京浜検査工業株式会社
 CIW認定業者・優良鉄筋継手部検査会社

本社：横浜市金沢区福浦2-6-10
 TEL：045-701-2072 FAX：045-784-4100
 山形支店：山形県南陽市若狭郷屋253-2
 TEL：0238-43-8100 FAX：0238-43-8108

アンカー工事
 スタッド
 ハットリ
 耐震補強

引張試験
 レントゲン
 鉄筋探査

ダイヤモンド
 コアビット
 ハンドカッター
 カップサンダー
 道路用ブレード

ガス
 アクリル
 打設
 工事
 コア
 アモ

社団法人日本建設あと施工アンカー協会加盟
中央総業株式会社
 神奈川県相模原市南区相模大野3-20-1 中央総業ビル4F
 ☎ 0120-07-1222 FAX 0120-07-5585

JEC 日本エンジニアリング株式会社

- ◇ 鋼、コンクリート建造物の調査・各種試験
- ◇ 各種プラントの目視検査・非破壊検査
- ◇ その他非破壊検査業務全般

〒210-0012
 川崎市川崎区宮前町7番15号
 TEL 044-245-8311
 FAX 044-245-8318
 E-mail jec@nihoneng.jp
 URL http://nihoneng.jp/homepage/

未来を見守る
 確かな技術

安全で安心な
 生活環境を
 目指して
 非破壊検査と焼鈍工事の

ユキビルド 株式会社

〒210-0808 川崎市川崎区旭町1-9-10
 TEL:044-222-3222 FAX:044-201-6532

ハンドヘルド蛍光X線分析計Vantaによるコンクリート塩分濃度調査技術

1.はじめに

硝酸で抽出される塩化物イオンは、硬化コンクリートに含まれる塩化物イオンの全量とされ、JIS A 1154「硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験方法」では、塩化物イオンの定量方法として電位差滴定法、吸光度法、硝酸銀滴定法、イオンクロマトグラフ法のいずれかを規定している。これらの方法では精度良く塩化物イオン量を分析することは可能だが、分析に時間がかかり、現場から採取したコンクリートのコアや粉末サンプルをラボへ持ち帰る必要もあるため、その場で結果を確認したい場合には不向きである。

2. 蛍光X線分析での塩分濃度測定

これら試験方法の代替として、コンクリート中の塩素 (Cl) 量を迅速に測定できるハンドヘルド蛍光X線分析計Vantaが有効である。

Fig.1は、モルタル供試体に塩化物イオン量を0.3～20kg/m³程度に変化させて作製した複数の粉末サンプルにおいて、電位差滴定法とVanta (Agターゲット, SDD, 30sec) で塩素濃度を測定した結果であり、決定係数R²はほぼ1と高い相関性が得られている。またFig.2のスペクトル重ね合わせを見ても、微量な塩素量の変化までエネルギー強度をきちんと検出できていることが分かる。蛍光X線分析を用いた塩分量の測定や評価についての文献は多数報告されており、道路・鉄道関連をはじめとするコンクリート構造物の塩害調査として、Vantaの導入実績も多く見られる。近年ではFig.3のように、コンクリート表面付近の塩素量を直接測定し、コンクリートの種類に応じた各種パラメータを設定した理論曲線(フィットの拡散方程式)を利用して、コンクリート内部の塩化物イオン量を推定することも検討・評価されている。

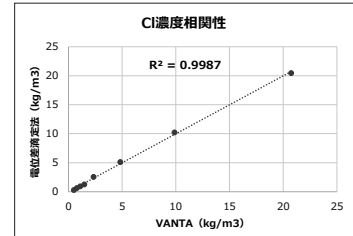


Fig.1 CI濃度相関性

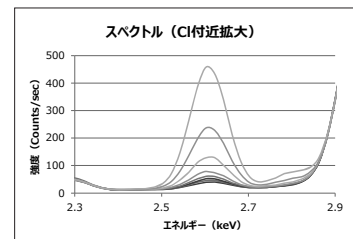


Fig.2 スペクトル重ね合わせ

3. コンクリート塩分濃度調査システム

ハンドヘルド蛍光X線分析計Vantaと、ウェアラブルグラスHoloLens2による拡張現実(AR)技術を融合させることで、コンクリート表面付近の塩素量を簡単に測定し、結果をヒートマップ表示して可視化する塩分濃度調査システムの調査手順イメージをFig.4に示す(XMAT、東北大学、日本大学、復建技術コンサルタント、エビデントの共同開発)。これにより、従来のチョーキング作業、ドリル削孔等でのサンプル採取の作業が省け、補修が必要であろうエリアのスクリーニングが迅速かつ効率的に行うことができ、その後の補修工事も最小限に抑えられ、コンクリート塩分濃度調査の人員、時間、コストの何れにおいても負担を大きく軽減させることが可能である。



Fig.3 測定例

この方法はコンクリートの主要な劣化原因としての塩害を未然に防ぐことに繋がり、インフラ長寿命化への貢献が期待できるものとして各方面で評価されている。

- 新技術情報提供システムNETIS登録(国土交通省)【NETIS登録番号: TH-220006-A】「蛍光X線分析によるコンクリート塩分濃度調査工法」
- 橋梁・トンネル点検支援技術性能カタログ(国土交通省)登録【技術番号: BR020043-V0024】「蛍光X線分析法・拡張現実技術を融合したコンクリート塩分濃度調査法」
- TOHOKU DX大賞(経済産業省東北経済産業局)「製品・サービス部門」最優秀賞(東北経済産業局長賞)受賞

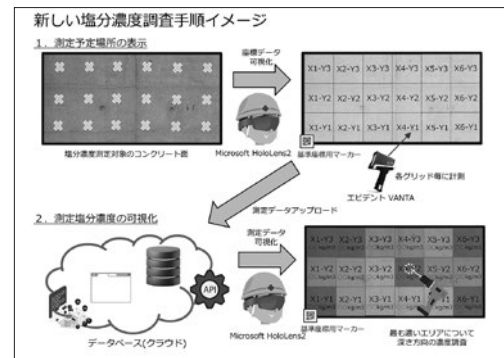


Fig.4 システム概要

4. おわりに

Vantaを用いた塩分濃度調査技術が多くの方に活用されることを期待し、今後も様々なソリューションを提案していく。

問合せ先: 株式会社エビデント TNMテクニカルセールス 加藤 洋
 TEL:03-6901-9390 FAX:03-6901-4914 E-Mail:hiroshi.kato@evidentscientific.com HP:https://www.evidentscientific.com/

600kVエックス線CT技術の紹介

1.はじめに

近年、放射線透過試験の対象物の厚肉複雑構造化や素材の多様化が進んでおり、特に厚肉部品に対するエックス線CT（以下、X線CTという）の要求が多くなっている。これまでのX線CTでは、大型品の対応に際しては最大管電圧450kVの出力を使用することが多かったが、透過することが難しい対象物が多くなっている。ここでは、最大管電圧600kVを用いたCT装置による課題解決の事例を紹介する。

2.使用装置の主な構成・仕様

X線発生器をCOMET社製MXR-601HP/11とし、最大管電圧600kV、最大管電流7.5mA、焦点寸法0.7mm、2.0mm切り替えが可能(EN-12543)。最大出力は1500W。検出器はVarex Imaging製4343HEを使用。撮影エリアは3072×3072mm、ピクセルピッチは139 μ m、最大フレームレートが4fps(1×1)、15fps(2×2)、耐放射線最大エネルギーは16MeV。回転ステージは最大積載重量100kg、直径1000mmのステージを取り付けることが可能。解析ソフトはVOLUME GRAPHICS社 VG STUDIO MAXを使用。CTスキャナで取得した画像を使用した3次元ボリュームデータの再構成から、3D及び2Dでの可視化、動画作成までワークフローを行うことが可能。

3.CT撮影画像

600kV X線CTの性能を確認するために、STB標準試験片(STB-G V15-4)を使用した(写真2)。厚さは50mmであり中央下付近に直径4mm、長さ30mm(栓部分を含む)の基準穴がある。保管ケースに入れた状態で撮影を実施したが、基準穴が検出可能なことが確認できる。CT装置で撮影したデータを元にVG STUDIOで構築した画像を画像1,2に示す。画像2にみられる通り、3D構築画像で試験片の4 Φ の穴が確認する事ができた。

4.600kV X線CTの利点

600kVの出力を使用することにより、透過厚さが大きな対象物に対しても有効な構築画像を作成することが可能である。また、銅板フィルターなどを厚くすることができ、散乱線となる不要な低エネルギーのX線をカットすることができる。低エネルギーのX線をカットすることにより、散乱線の影響で発生するアーチファクトを軽減することが可能である。

5.おわりに

CT画像は、ソフトウェアの進歩により測定やきずの判別なども可能となってきた。一方、ユーザーの要求が多様であり1つのCT装置ではすべてを賅えないが多くなっている。また、上記の理由からユーザーにマッチした装置は既存装置では難しい場合がある。その解決策として、用途に合わせた装置を製作することが考えられるが、その際には、カスタマイズが可能な汎用装置を利用し、どのような装置、条件が必要かを検証することが必要である。

[一般社団法人非破壊検査協会西日本支部 第47回非破壊検査に関する研究発表会(2023年9月20日)発表資料より抜粋]



写真1 600kV対応X線CT装置

項目	内容
管電圧	600kV
管電流	2.5mA
フィルター	銅 8mm
撮影時間	約20分

表1 撮影条件

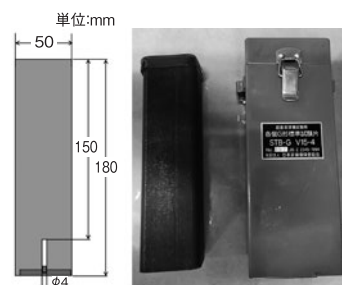
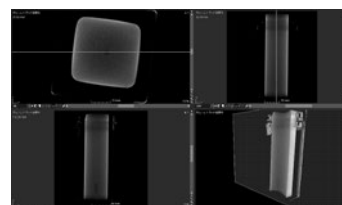
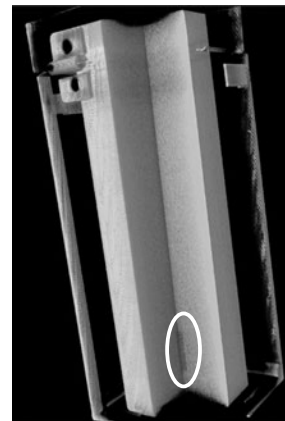


写真2 STB-G V15-4



画像1 Y軸方向断面図



画像2 CT構築画像切り抜き

問合せ先: ポニー工業株式会社 営業企画室 田邊 幸治

TEL:06-6262-6510 FAX:06-6261-2009 E-MAIL:pony-west@ponyindustry.co.jp HP:https://www.ponyindustry.co.jp/

第19回フェーズドアレイ超音波探傷器講習会

機材支部UT分科会(砥嶋浩彰委員長)は、日本溶接技術センター(神奈川県川崎市)において2月18~19日の両日、「第19回フェーズドアレイ超音波探傷器講習会」を開催した。18日の座学と19日の実習で構成される講習会には会員企業を中心に17名が参加した。

1日目の講義は、後河内薫氏(KS-NET)による超音波フェーズドアレイ技術の特徴や現場での普及状況・適用目的といった基礎的な説明と、堀井崇史氏(エビデント)による走査方法や表示内容についての解説が行われた。2日目は、実機を使用したフェーズドアレイ体験となった。各エレメントにおける超音波や装置の挙動に対する理解深めながら、最適な周波数帯を選択する実践的な実習となった。

受講者は、テストピースによるデータ採りとして、セクタスキャンやリニアスキャン及びCスキャン等の走査パターンを学習した。なお、本講習会の受講者にはJIS Z 2352:2013の訓練シラバスに則った認証資格訓練証明書を発行した。



実習のまよう

「中性子線CT撮像装置(産総研・つくばセンター)」の見学

機材支部RT分科会(西田研二委員長)は、2月6日に国立研究開発法人産業技術総合研究所(産総研)つくばセンターにおいて、中性子線CT撮像装置の見学会を行った。経済産業省所管の公的研究機関である産総研は、経済および社会の発展に資する科学技術の研究開発を行う日本最大級の研究機関であり、「社会課題の解決」と「産業競争力の強化」をミッションとしている。この見学会には工業会会員企業から26名が参加した。



中性子線CT撮像装置 見学のまよう

エックス線に替わる高感度な構造解析が可能な中性子は、金属を透過しやすく水素やリチウムなど特定の元素に高い感度を持つため、物質の透過率の違いを利用した内部イメージングが可能である。更に、パルス中性子線の透過スペクトルを解析することで、結晶構造の情報が得られる等の説明を受けたの後、参加者は中性子線CT撮像装置を見学し、試験体と水を使用したデモンストレーションによる説明を受けた。

お客様と社員に信頼される

企業でありつづける



溶接検査株式会社

本社：〒985-0853

宮城県多賀城市高橋4丁目13-1

TEL：022-352-3459

FAX：022-352-3460

URL：<http://yosetsukenza.com>

出張所：青森・山形・秋田

技術と信頼であらゆるニーズにお答えします

"High Quality Inspection Service"



株式会社 アイ・エム・シー

事業内容 ■ 非破壊検査全般 ■ タンク・プラント保守検査
■ インフラ点検全般 ■ 品質管理業務

認定 (一社)日本溶接協会(CIWW)認定 A種
ISO9001 認証 JMAQA-1790

一般建設業許可 国土交通大臣許可(般-6)第23267号 他

本社 〒652-0898 神戸市兵庫区駅前通5丁目3番14号

TEL 078(577)3691 FAX 078(576)2008

URL <https://imc-ndi.com>

事業所 千葉事業所/中部事業所/関西事業所

CIW認定 A種 想像から創造へ 今感動の技術
労働者派遣事業許可
ISO9001 認証 JMAQA-1749



株式会社ダンテック

■ 非破壊試験検査全般 ■ 建築・土木構造物調査診断
■ 各種プラント保守点検 ■ 各種設備・配管劣化調査
■ 品質管理 ■ 破壊試験・化学分析等材料試験

本社 〒530-0043 大阪市北区天満4丁目14番13号
TEL.06(6354)3641 FAX.06(6354)2707



壊さず
診る!!

非破壊検査

インフラ調査

プラント検査



東洋検査工業株式会社

【本社】〒640-8306 和歌山市出島31-5 TEL:073-471-1311 FAX:073-474-6211
【支店・営業所】大阪府堺市/和歌山県和歌山市/茨城県神栖市

「NDI レベル2資格取得のための受験対策セミナー」を開催

東日本支部及び関西支部の教育委員会は、レベル2受験者を対象に、JSNDI春期一次試験対策のセミナー（RT、UT、MT・MY、PT・PD）を以下の日程で開催した。会場毎に、経験豊富なベテラン講師陣を配置し、資格試験の出題傾向を的確に把握したうえで、より厳選された演習問題のポイント解説や、質疑応答及び課題克服に向けたきめ細やかな指導のもとで理解がより深まるものであった。受講者はNDIレベル2技術者として必要な知識の習得に努めていた。

また、ET2講習については会員満足度推進WGの要望を受けて、遠隔地から参加しやすいWebと対面のハイブリッド講習とした。



ハイブリッド講習のもよう

東日本支部	実施日：2/27～3/10	対象：UT2、ET2
関西支部	実施日：3/1	対象：RT2、UT2、MT・MY2、PT・PD2

令和6年度「アンケート要請による講座」を開催

西日本支部（清水重之支部長）は、2月7日に「アンケート要請による講座」をオンライン（Zoom ウェビナー）開催し、会員企業から62名が受講した。

支部会員に毎年アンケートを実施して講習会テーマを選定しており、令和6年度は「金属材料の基礎知識・腐食損傷の形態」をテーマに、三井E&Sテクニカルリサーチの徳井翔氏を講師に招き以下の内容で実施した。

また、Zoomの録画データを編集したうえで、工業会の会員専用ページに期間限定で公開することを計画している。



オンライン講習のもよう

日時 / 場所	令和7年2月7日（金）10：00～12：00 / Zoom ウェビナーによる開催
内容	金属材料の基礎知識・腐食損傷の形態
講師	三井E&Sテクニカルリサーチ 材料試験GR 徳井 翔 氏
取得資格	技術士（金属部門・建設部門・総合技術監理部門）、特別級溶接管理技術者

**非破壊検査技術を通して
皆様の安心・安全をサポートします**
～建築・土木工事における各種非破壊検査・各種調査～

株式会社 サンテクス

本社 〒690-0048 鳥根県松江市西嫁島1-2-9
TEL0852-22-4478 FAX0852-26-4982

関東事業所 〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区中川3-38-1
TEL045-350-4470 FAX045-350-4471

広島事業所 〒732-0023 広島市東区中山東3-1-60-201
TEL082-508-6205 FAX082-508-6206
<https://www.sut.co.jp>

SHK “診る”を究めて
人と技術を「安全」という強固な絆で結び、「安心」を提供します。

新日本非破壊検査株式会社

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号
TEL:093-581-1234 FAX:093-581-4567

東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-9
aLATO日本橋小伝馬町 3階
TEL:03-6661-1307 FAX:03-6661-1308
<https://www.shk-k.co.jp>

**住重アテックスは、
試験検査技術のエキスパートとして、
社会に産業に貢献します。**

調査・診断・非破壊検査サービス

- フェーズドアレイUT法
- デジタルX線
- 3Dレーザ計測
- ドローン点検
- 壁面走行ロボット（目視・肉厚測定）

Acceleration Technology and Examination

住重アテックス株式会社
本社所在地
〒799-1393 愛媛県西条市今在家1501
TEL：0898-64-6934 FAX：0898-64-6959
各拠点：東京、神奈川、千葉、愛知、岡山、愛媛

EVIDENT NEW
3D画像生成/計測ソフトウェア 3DAssist

配管内溶接部を撮影

長さ・凹凸の測定
スケラー計測
(配管内径等基準寸法が必要)

基準に対しての凹凸を
色分けして表示
カラーマップ機能

**内視鏡検査動画の任意シーンを3D化、
自由な位置・角度から不具合箇所を確認可能**

株式会社エビデント ☎0120-58-0414 (フリーダイヤル) www.EvidentScientific.com

**2024年度後期 インフラ調査士
講習会・資格認証試験 受験者情報**

【実務(二次)試験結果】

2月6日(木)

会場：川崎市産業振興会館(川崎市幸区)

資格	橋梁(鋼橋)	橋梁(コンクリート)	トンネル	付帯施設
受験者数	33名	46名	52名	27名
合格者数	26名	35名	36名	22名

【講習会開催情報】

配筋探査実技講習会[教育部会]

1月15日～17日	リロの会議室水道橋(東京)	受講者 40名
1月28日～30日	エル・おおさか(大阪)	受講者 45名

【講師派遣情報】

危険物保安技術協会「コーティング上からのタンク底部板厚測定講習会」

東京会場 5日間：2月12日～18日
大阪会場 3日間：3月5日～7日

本部

会員
動向

令和7年3月31日 現在 193社
東日本支部 77社、関西支部 42社、
西日本支部 41社、機材支部 33社

退
会

■西日本支部 中国検査株式会社
(令和7年3月31日付)

**2024年度後期 配筋探査技術者
資格認証試験 受験者情報**

2月に実施した後期探査実技(二次)試験の受験者数と合格率及び2025年度前期の証試験日程は次のとおりです。

《試験結果》

2024年度後期 配筋探査技術者(土木)実技試験結果

	関東	関西	受験者 合計	合格者	合格率
土木 (電磁波レーダ法)	56名	78名	134名	104名	78%
土木 (電磁誘導法)	51名	62名	113名	98名	87%

2024年度後期 配筋探査技術者(建築)試験結果

建築	33名	—	33名	33名	100%
----	-----	---	-----	-----	------

《試験日程》

2025年度前期 配筋探査技術者(土木)資格認証試験日程

	関東 (学科:東京、実技:川崎)	関西 (大阪)
学科(一次)試験	5月29日	5月29日
実技(二次)試験	8月26日～28日	8月19日～21日

**2025年度前期 配筋探査技術者(建築)資格認証試験日程
(試験会場：関東)**

建築学科講習・建築修了試験(eラーニング)	5月8日～5月28日
建築実技講習・建築実技試験(同日開催)	6月24日～6月27日

サンコウの測定器・検査機器

非接触膜厚計コートマスター FLEX

◆ウェット/乾燥状態の
コーティング層を非接触で
測定可能!

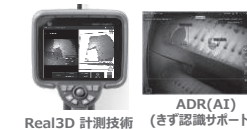


SANKO 株式会社サンコウ電子研究所
東京：03-3254-5031 大阪：06-6881-1230 仙台：022-292-7030
名古屋：052-915-2650 福岡：092-282-6801
URL <https://www.sanko-denshi.co.jp>

InspectionWorks

Solutions start here...

工業用内視鏡製品



Real3D 計測技術 (きず認識サポート)

デジタイザ・CR/DR製品



FS50B CRxVision

DICONDE準拠



DXR75P,100P,140P CRxFlex

Waygate Technologies

超音波製品



Krautkrämer 75

USM100& USM100 PRO

CT製品



X|Approver

X線CT-バッテリー自動/判定ソフトウェア(ADR)

日本ベークハウス株式会社

ウェイゲートテクノロジーズ非破壊検査機器事業本部

Waygate-tech.com/jp

メール: BJapanComm@bakerhughes.com

非破壊検査機器の販売・修理・校正・レンタル



工業X線発生装置



超音波探傷器 USM100



超音波厚さ計 DM5E

支える、の一番近くに。

RIKOH-S 理工サービス株式会社

〒733-0035 広島市西区南観音6丁目3番10号
TEL: (082)292-2552 (代) FAX: (082)295-0566
E-mail: rikoh@rikoh-s.com URL: <https://www.rikoh-s.com/>



RYOSHO 超音波探傷器

◎標準機能からRタイプ機能まで幅広いニーズに対応。

◎「中小企業等経営強化法の適用」で税制措置を受けることができます。



UI-S9



UI-R1

菱電湘南エレクトロニクス株式会社

菱電湘南

検索

〒247-0068 神奈川県鎌倉市山崎25番地
TEL 0467-45-3411 FAX 0467-44-7517
URL <http://www.rsec.co.jp>
E-mail: info@rsec.co.jp